

プロミツソンの惨劇

渡加敷唯正氏 強盗に殺害さる

單身追跡してこの遭難
しよんほり戻つて來た乗馬

◆

去る二十九日午前九時頃ノロ
エスチ線フリマン郡バーバー
チニヨン植民地官本耕地コロ
ノ元島某氏宅へ伯人の二人組
強盗が侵入したがそれと氣付
いた家人が附近の御珠に包囲するや逸早く附近の御珠に逃走した
いたため一物を得ず附近の御珠に

者のか非常召集を行ひ豪雨の中
をおかしく今氏の捜索を開始

したが容易に見失し得ず漸く

翌朝になり我人御珠園に十

八九ヶ所の切削を受けた無残

な死体となつて發見され

たが不思議からレボントで食い

た書類を總事務部へ提出した

外務局より無賃乗車券を下

附された退耕組は

そのであつた夫婦も

ものであつた夫婦も

さめ果てた銃後の熱

手紙でも下さい
殊に溝洲獨立守備隊へ冷淡

全國民へ叫ぶ陸軍省

溝洲事變以來三年
二ヶ月、溝洲治安の維持を訴へることとなつた、中井大佐は、その報告によると、守備隊は出動兵に対する國民の後援熱意一年以來回にわたる大對する銃後は、皆無である。佐の報告によると、守備隊は想像よりも甚だしい状況があつて編成されてゐる。千名、少いのは五十名から小部隊の兵力をもつて激戦に次ぐが、第一線特に獨立守備隊に於ける苦難を重ねてゐるが、守備隊は全國各部隊の選抜兵をもつて編成されてゐることと、第一線の熱意も薄く、最近では兵會をはじめ各軍團體を動員して独立守備隊の慰問方法を講ずる一方、第一線の將兵紙を待ちこがれてゐる。ありさにやさしい一本の手紙を贈つてあるといふ。

豫算決定の夜から病床へ

信念を强行し職に殉す
夜から病床へ

豫算問題に

各省の猛烈な復活要求に責め

豫算問題に

各省の猛烈な復活要求に